

平成19年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ:ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
売上高	100.2	102.3	100.2	100.3	103.7	108.5	102.2	105.7	105.2	101.4	108.6	106.6		105.5	103.7

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
音響映像商品	92.0	104.8	99.3	96.9	102.7	101.4	99.1	109.3	107.9	91.0	98.3	112.3		104.0	101.3
家庭電化商品	107.1	108.7	105.3	102.1	108.7	110.6	106.6	111.4	109.8	110.6	119.8	97.7		109.3	107.9
情報通信機器商品	99.6	95.8	91.0	91.8	94.1	104.6	95.7	100.9	99.8	98.2	105.3	102.8		101.3	98.2
その他の商品	110.7	113.0	124.9	123.8	128.9	132.3	122.5	107.9	113.2	118.5	121.7	119.9		116.0	119.5

3. 概況

7月度は、全店前年比106.6%となりました。前年との曜日・休日比較では、土曜日が1日少なく、2.5%程度のマイナス影響がありました。音響映像商品は、薄型テレビ、DVDレコーダーともに好調に推移し、メモリオディオが苦戦したものの、112.3%となりました。家庭電化商品は、高付加価値商品を中心に洗濯機、調理家電が好調を維持し、冷蔵庫、理美容品も堅調な推移をみせたものの、猛暑予想が一転し、過ごし易い日が続いたことからエアコンが苦戦し、97.7%となりました。情報通信機器商品は一眼レフデジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラ、パソコンソフトが好調に推移し、携帯電話、パソコン本体、パソコンサプライ品も堅調に推移したことから、102.8%となりました。その他の商品は、ゲーム機本体及び関連するアクセサリ、玩具、スポーツ用品、酒類が好調に推移したことから、119.9%となりました。

その他:

6月29日にリニューアル開店した池袋本店は、非常に好調なスタートを切っており、集客力の増加から7月度の売上高は大幅増収となりました。

8月23日木曜日に、当社25店舗目となる「ビックカメラJR京都駅店」を開店いたします。